

基本
目標
5

未来を拓く 人づくり

[子育て・教育・文化]



INDEX

1	子育て支援の充実	▶	93
2	学校教育の充実	▶	95
3	生涯学習の振興	▶	98
4	生涯スポーツの振興	▶	101
5	文化の振興	▶	103

施策の大綱 1

子育て支援の充実

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 関連する SDGs



現状と課題

本村では、地域子育て支援拠点事業としての「陽だまりサロン」や「病後児保育事業」などを実施し、安心して子育てができる環境づくりに努めてきました。また、出生児祝金の給付や保育料の無償化など経済的な支援を実施し、子育て支援の充実も図ってきました。さらに、保育園、小学校、中学校が協力し、子どもらしさや育ちに着目した連携カリキュラムや年間計画を策定し、実践するなど、円滑な教育移行を実現してきました。

しかし、本村における少子化傾向は続いており、家族形態の多様化による家庭での子育て力の低下や地域とのつながりの希薄化が懸念されます。

親子が地域で孤立することがないように、子育て支援に関わる関係機関が連携し、地域全体で親子を支える体制づくりの強化が求められています。

児童福祉では、「球磨村子ども・子育て支援事業計画」を踏まえ、子どもを安心して産み育てることができる子育て環境の構築を進めています。

子育て支援はもとより、働きながら子育てをしている世帯の生活支援、子どもたちの健全育成のためのメニューの充実、支援体制の確立などが求められています。

本村では、支援を必要とする子どもや家庭への支援として、要保護児童対策協議会を定期的に開催し、関係機関と協力して児童虐待や支援が必要な世帯を把握しています。さらに、令和5年度（2023年度）からは、子ども子育て支援拠点に社会福祉士を配置し、支援体制を強化しています。

また、子育て支援の充実を図るため、子ども家庭総合センター（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の組織を一元化し、妊産婦・子育て世帯・子どもの一体的な相談対応や、支援を要する子どもや妊産婦などに対するサポートプランの作成やマネジメントなどを担う「こども家庭センター」の設置が求められています。

めざす姿

子育て世代が安心して子育てできる環境づくりと子育ての支援の充実により、子育てしやすい村を目指します。

村民・事業者・地域の役割

- ◆子育てに対する理解を深め、家族で協力して子育てに取り組みます。
- ◆育児に関わる人が働きやすい職場環境づくりに努めます。
- ◆子育て家庭への支援や地域での見守りに努めます。

施策の大綱 2

学校教育の充実

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 関連する SDGs



現状と課題

学校教育においては、これからの予測困難な社会状況の中、自ら課題を発見し、学び、考え、判断して行動する「生きる力」の育成が求められており、これまで、確かな学力の育成、豊かな心の醸成、健康な体の育成、信頼される学校づくり、教育環境の充実などに取り組んできました。

確かな学力の育成では、学校訪問などによる指導・助言とともに、教職員研修の充実や、情報化・国際化に対応する教育の推進を図りながら学力の向上に努めてきました。しかし、国や県の学力調査結果を見ると、まだ課題も多く、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が必要です。また、特別支援教育の充実を更に推進し、個に応じたきめ細かな指導の充実を図る必要があります。

豊かな心の醸成では、生徒指導、道徳教育、人権教育などの充実に取り組んできました。しかし、いじめ、不登校などの生徒指導上の問題への対応には、学校や家庭だけでなく、スクールカウンセラーをはじめ専門機関などとの早期の連携が求められます。また、世代を超えた交流とともに、体験学習やふるさと学習の充実に向け、更なる推進体制の確立が必要です。

健康な体の育成では、教科体育、食育、防災・安全教育などの充実に取り組んできましたが、今後も家庭、地域や関係機関と連携を密にし、日常的な取組を充実させていく必要があります。また、小学校の運動部活動の社会体育移行については、平成31年（2019年）4月より「くまむらジュニアクラブ」での活動が始まりましたが、令和2年7月豪雨を受け、現在まで活動休止が続いています。今後、義務教育学校の部活動参加や地域での活動再開に向けた検討が必要ですが、指導者不足などの課題があります。

信頼される学校づくりでは、学校評価の公開や、学校運営協議会※1を設置し、地域と連携を深めながら地域に根差した学校づくりに努めてきました。今後更に、学校と家庭・地域との連携・協働を推進し、コミュニティ・スクール※2や地域学校協働活動が一体的に機能する体制づくりを進める必要があります。また、育ち・学びの連続性の視点から、保育園と義務教育学校の更なる連携強化や、信頼される教職員としての資質・能力の向上と不祥事防止に向けた取組が求められます。

教育環境の充実では、学校施設の老朽化に伴う修繕や改修工事を行い、通学環境を整備し、スクールバスについても老朽化した車両の入れ替えなどを行い、安全で安心な教育環境の充実に努めてきました。また、グローバル化する社会に対応した教育環境の整備充実のためのICT機器の導入や、無線LANの整備も実施してきました。例えば、児童生徒に一人一台のタブレット端末を導入し、学校と家庭での学習を含む効果的な活用を実現することができました。今後も、学校と家庭での効果的な活用について、更に推進する必要があります。

学校施設や通学環境などの充実については、子どもの命を守る視点からも大切な課題です。緑豊かな山が多く、球磨川が流れ、自然景観が美しいエリアにある学校としての環境づくりや心づくりにも

※1 学校運営協議会…地域や社会の実情に沿った学校となるようにしていく組織のこと。学校・保護者・地域が一体となって学校の運営について協議を行う。

※2 コミュニティ・スクール…学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みのこと。

指標と目標値

指標	単位	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
□ こども家庭センターの設置数	箇所	0	1

施策の展開

(1) 子育て支援体制の充実

関連する個別計画 子ども・子育て支援事業計画/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 子育て支援の充実を図るため、子ども家庭総合センター（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の組織を一体化した「こども家庭センター」を設置します。
- 義務教育と連動した「学び」へのスムーズな移行を図るため、保育園と義務教育学校の連携を強化します。
- 子どもたちを有害な環境から守る対策を強化し、青少年が健やかに育つ環境づくりを推進します。
- 行政と地域の連携を図り、子育て世代間の交流の場づくりを推進します。
- 子育て世帯への経済的な支援を継続して行います。
- ◎ 子育て世帯が集まり、活動できる場所の整備を検討します。

(2) 職業生活と家庭生活との両立の推進

関連する個別計画 子ども・子育て支援事業計画/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 地域子育て支援センター（渡保育園内）や子ども子育て支援拠点との連携により、結婚、妊娠、出産、育児の切れ目のない支援を推進します。

(3) 子どもの安全確保

関連する個別計画 子ども・子育て支援事業計画/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 子どもへの交通安全教育の拡充を図ります。

(4) 支援を必要とする子どもや家庭への支援

関連する個別計画 子ども・子育て支援事業計画/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- ひとり親家庭、障害児やその保護者が安心して生活できる環境づくりに努めます。
- 児童虐待に速やかに対応できる体制を強化します。
- 関係機関と連携し、子育てに不安を持つ親などへの支援強化を図ります。
- 関係機関と連携し、子どもへの貧困対策を推進します。

◎ …「復興未来トーク」における提案を取り入れた施策

配慮しながら、地域の担い手となる子どもたちの可能性を広げる教育環境づくりに引き続き取り組んでいく必要があります。

また、令和2年7月豪雨の影響で児童・生徒が減少し、令和3年度（2021年度）から小学校で複式学級が発生しました。保護者からは、複式学級の解消や教育環境の改善を求める声が上がリ、これを受け、「球磨村小中学校再編計画検討委員会」で協議を重ねた結果、義務教育学校の開設を目指すこととなりました。現在、令和6年度（2024年度）の義務教育学校「球磨清流学園」の開校へ向けて準備を進めています。

めざす姿

子ども、学校、家庭、地域、行政の五者が連携し、子ども一人ひとりに応じた確かな学力、豊かな心、健康な体などが育まれる学校教育を目指します。

村民・事業者・地域の役割

- ◆ 家庭では、子どもの心身の健康を育み、生活体験を通して生活習慣や善悪の判断など規範意識の基盤をつくります。
- ◆ 学校教育に関心を持ち、協力することで、地域ぐるみで子どもの健やかな育ちを見守ります。
- ◆ 学校教育活動への地域の積極的なかかわりをつくります。

指標と目標値

指標	単位	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
□ 球磨清流学園の「ふるさと学」における地域連携・参画の実施率	% (実施クラス/総クラス)	36.3	100
□ ジュニア ICT リーダー育成プログラムの参加率	% (参加者数/5年生以上の児童・生徒数)	—	30.0

施策の展開

(1) 確かな学力の育成

関連する個別計画 教育大綱/教育振興基本計画/いじめ防止基本方針/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 学力調査結果の検証を行い、学力向上に向けた課題の解決・改善に取り組みます。
- ICTの活用やALTとの連携などにより、国際化に対応した指導体制づくりを推進します。
- 特別支援教育の指導力向上を図るとともに、情報共有や連携を強化し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援に努めます。
- Google for Education パートナー自治体の連携事業の活用、プログラミング教育※1の導入などにより、デジタル人材※2の育成と郷土愛の醸成を図ります。
- ◎ ICTの効果的な活用と、情報活用能力の育成に取り組みます。

(2) 豊かな心の醸成

関連する個別計画 教育大綱/教育振興基本計画/いじめ防止基本方針/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 子ども同士や、教職員との信頼関係を基盤にした、学級・学校づくりを推進します。
- 家庭や専門機関などとの連携を密にして、いじめ・不登校、問題行動などの未然防止と、早期発見・早期対応に取り組みます。
- 「特別の教科 道徳」の指導方法の確立を図り、豊かな人間性を育成するための教育内容を充実させます。
- 子どもたちの社会性や豊かな感性を育む、体験学習の充実を図ります。
- 村の自然、歴史、文化などの素晴らしさを知る「ふるさと学」の充実を図ります。
- 発達段階に応じ、一人ひとりを大切にしたい人権教育に取り組みます。

(3) 健康な身体の育成

関連する個別計画 教育大綱/教育振興基本計画/いじめ防止基本方針/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣が身につくよう、学習機会の充実に取り組みます。
- 心のケアに配慮しながら、児童・生徒と教職員が災害時に適切な対応ができるよう、防災教育に取り組みます。
- ◎ 義務教育学校の開校や、中学校部活動の休日地域移行に伴う、外部指導者の活用と地域との連携・協働を図り、教科体育の充実と児童・生徒の体力向上に努めます。

(4) 信頼される学校づくり

関連する個別計画 教育大綱/教育振興基本計画/いじめ防止基本方針/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 義務教育学校への移行に伴い、学校と地域が連携・協働して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動に取り組む体制づくりの再構築と推進に努めます。
- 小1プロブレムや義務教育学校の開校により教育環境が変化したことによる児童・生徒の不安や学力低下が抑制されるよう、保育園と義務教育学校の連携による円滑な教育移行を進めます。
- 教職員の資質・能力の向上と不祥事防止対策を講じます。

(5) 教育環境の充実

関連する個別計画 教育大綱/教育振興基本計画/いじめ防止基本方針/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 学路の安全確保に努め、随時、スクールバスの設備と点検、更新を行います。
- ICT機器の導入や入れ替え時の年次計画を作成し、実施します。
- 校舎の長寿命化計画に基づき、校舎の安全性を確保します。
- 児童・生徒が学びやすい教育環境の整備に努めます。

◎ …「復興未来トーク」における提案を取り入れた施策

※1 プログラミング教育…コンピュータプログラミングの基本的な概念やスキルを学ぶ教育のこと。

※2 デジタル人材…デジタル技術やツールを効果的に活用し、ビジネスやプロジェクトの成果を向上させるためのスキルと知識を持つ人材のこと。

村民・事業者・地域の役割

- ◆生涯学習講座に参加し、交流の輪を広げます。
- ◆基本的人権を尊重し、差別をなくす施策に協力し、自らも人権意識の高揚に努めます。
- ◆事業所内での人権啓発を実践し、雇用や待遇による差別をなくします。
- ◆個々の学習や活動で得た知識や技能などを、地域の課題解決やむらづくりに活かします。

指標と目標値

指標	単位	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)
□生涯学習講座の受講者数(延べ)	人/年	355	390
□人権研修の受講者数(延べ)	人/年	497	540

施策の展開

(1) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

関連する個別計画 社会教育計画/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 学校を核とした地域づくりを目指し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えます。
- 地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を実践します。

(2) 公民館活動の推進

関連する個別計画 社会教育計画/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 文化活動を通じ、コミュニティ拠点づくりを支援します。
- スポーツの振興・健康づくりを通じて、公民館活動の活性化に取り組みます。

(3) 家庭・地域教育力向上への支援

関連する個別計画 社会教育計画/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 学習ニーズにあった講座の企画・運営を支援します。
- 様々な知識や技術を持つ地域の人材を登用し、伝統・文化などの学習や世代間の交流を図ります。

施策の大綱 3

生涯学習の振興

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 関連する SDGs



現状と課題

近年、少子高齢化やグローバル化、情報化の中で子どもを取り巻く環境が大きく変化し、学校や地域などの抱える課題は複雑化、多様化しています。また、地域の教育力の低下や家庭の孤立といった問題もあります。そうした状況の中で、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、社会総掛かりによる教育を実現することがますます重要になっています。教育の原点であり、全ての教育の出発点である家庭での教育は、親の学びの場でもあることから、子育てに喜びを見いだせるような支援を行う必要があります。

さらに、生涯にわたって主体的に学び続けられ、信頼感に満ちた互恵的な人間関係の形成を促し、学んだことを活かすことで豊かであるおいのある地域を創造していく原動力を育むための拠点として、公民館活動を推進していく必要があります。

本村では、これまで生涯学習事業として「くまむら歴史研究」などの講座を実施し、学習成果発表の機会として、毎年3月に生涯学習フェスティバルをくまむら文化祭と同時開催してきました。また、学んだことを活かし、学校応援団として学校教育の支援をされる会員もおられます。

しかし、近年、講座数の減少や受講生の高齢化も目立ちはじめしており、村民のニーズを的確に把握した講座内容の充実や開催日時などの見直しなどが求められています。

また、仕事や社会生活のあらゆる面において、新しい知識や技術の習得など質の高いニーズが高まっていることから、学校や行政機関、社会教育関係団体などと連携した取組を推進していく必要があります。

人権問題については、憲法が保障する基本的人権を侵害する重大な問題であり、部落差別(同和問題)、水俣病患者をめぐる人権、ハンセン病回復者などの人権、女性や子ども、高齢者、障害者、外国人、LGBTQ など、解決しなければならない様々な課題が、依然として存在しています。

本村では、地域人権教育指導員を配置し、学校での人権教育を肯定的に受容できる家庭・地域の基盤づくりのために学習機会の提供を行ってきました。青少年育成も含めた研修会、地区の公民館での高齢者向けミニ講話などを毎年実施し、正しい知識を学ぶことで、人権意識の高揚を図ってきました。しかし、参加者の固定化がみられることから、村民一人ひとりが、人権問題について正しい知識を身につけるとともに、自らの問題としてとらえ、あらゆる差別や偏見をなくすよう、人権教育の啓発に取り組んでいく必要があります。

めざす姿

村民一人ひとりが生きがいのある生活を送るため、生涯を通して学ぶ機会を充実させ、学んだ知識や技能を、地域や暮らしの場で活かすことができる生涯学習を目指します。

施策の大綱 4

生涯スポーツの振興

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 関連する SDGs



現状と課題

近年、健康・体力づくりへの関心は高く、ウォーキングやグラウンドゴルフを行うなど、多くの村民が生活の一部としてスポーツの必要性を感じています。しかしながら、「仕事」や「はじめるきっかけの難しさ」などの理由により、なかなか取り組むことができない村民が多いのが現状です。

総合型地域スポーツクラブ「くまむらスマイルスポーツクラブ」においては、指導者の高齢化や指導者不足、会員の固定化が顕著であり、会員数を増加させることが課題となっています。さらには、平成31年（2019年）4月の小学校の運動部活動の社会体育（くまむらジュニアクラブ）への移行に伴い、児童のスポーツ環境の確保、支援を図る必要があります。

村民のスポーツ振興及び健康づくりの拠点として整備した球磨村総合運動公園は、令和2年7月豪雨以降仮設住宅用地に供されているため、スポーツイベントやレクリエーション活動に使用可能な新たな場（施設）が求められているところです。

このような課題解決と村の活性化に向けて、これまで以上に体育協会やスポーツ推進委員会を中心としたイベントの開催など、スポーツによる地域づくりが必要となってきています。

めざす姿

関係団体などと連携・協働を図りながら、村民がスポーツに親しむきっかけづくりやスポーツによる生きがいづくりを推進し、健康を意識したスポーツの振興とスポーツを通じた交流の拡大を目指します。

村民・事業者・地域の役割

- ◆スポーツ・レクリエーション活動に積極的に参加します。
- ◆地域ぐるみでスポーツに親しむ機会や環境づくりに努めます。
- ◆スポーツ活動への理解に努め、支援します。

指標と目標値

指標	単位	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
□ くまむらスマイルスポーツクラブの参加者数	人/年	102	110
□ スポーツ事業（イベントなど）の参加者数	人/年	571	620

(4) 社会教育関係団体との連携

関連する個別計画 社会教育計画/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 学びを通じた仲間づくりと、子どもたちや青年団、老人クラブなどの団体とのネットワークづくりを推進します。
- 学習成果が地域で活かされる場を充実させます。

(5) 人権教育・啓発の推進

関連する個別計画 社会教育計画/過疎地域持続的発展計画/デジタル田園都市構想総合戦略

- 地域・職場における人権問題に関する学習機会の提供と、内容の充実を図ります。
- 啓発活動により人権を尊重する意識の高揚を図ります。

施策の大綱 5

文化の振興

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 関連する SDGs



現状と課題

村民の文化に対する意識を高めるため、講座や文化祭を毎年開催していますが、多様化する村民のニーズに対応するため、文化事業の充実を図る必要があります。

また、「文化協会」は、年々会員の固定化や高齢化により会員数、サークル数の減少が顕著であり、これに伴い活動成果の発表機会が減少しています。

村内の文化財については、指定の候補が挙がっていますが、指定困難となっている文化財が多くあります。今後においても、このような未指定の文化財や古文書など、預託・寄贈された文化財の指定・保存管理及び公開による活用が必要となってきます。

民俗文化の保存・継承については、くまむらふれあいまつりや各地区の神社大祭などに保存団体が出演されていますが、近年、少子高齢化の進行により、存続が危ぶまれる団体が発生しています。

めざす姿

文化芸術に触れる機会を創り、豊かな感性の育成と、文化財や史跡の保護・活用を図り、文化的価値の理解を深めるとともに、貴重な歴史的資源を後世へ継承していく村を目指します。

村民・事業者・地域の役割

- ◆ 地域文化を学び、関心を持ちます。
- ◆ 地域文化の保存・継承に努めます。

指標と目標値

指標	単位	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
郷土芸能の発表の場の確保	件/年	2	4

施策の展開

(1) 指導者の確保と資質の向上

関連する個別計画 社会教育計画/過疎地域持続的発展計画

- 定期的な情報交換と、スポーツイベントなどの企画や運営を支援して、スポーツ推進委員の指導力の向上に努めます。
- 部活動の地域移行に伴い、新たな指導者の育成を図ります。

(2) 各種スポーツ団体の育成と活動支援

関連する個別計画 社会教育計画/過疎地域持続的発展計画

- スポーツイベントを開催するとともに、参加促進に努め、競技スポーツとの連携と充実を図ります。
- 体育協会及び加盟団体など各種目協会の連携と「くまむらスマイルスポーツクラブ」の自主的活動の支援を強化します。

(3) 体育施設の整備・充実及び有効活用

関連する個別計画 社会教育計画/過疎地域持続的発展計画

- 定期的に設備の点検を実施し、維持管理と有効活用を図ります。
- 各種スポーツニーズに対応した用具・設備の充実を図ります。

復興に向けた取組

● 遊水地を活用したスポーツの振興

遊水地の平常時の土地利用策として、遊水地における運動公園の整備を国と連携しながら進め、本村のスポーツ振興の場として活用していきます。

施策	施策概要	R6	R7	R8	R9	R10	R11~
スポーツの振興	● 遊水地における運動公園の整備	○	○	○	○	○	○

施策の展開

(1) 文化活動の推進

関連する個別計画 社会教育計画／過疎地域持続的発展計画

- 文化的な豊かさを高めるために、地域に根差した魅力ある文化活動の充実に努めます。
- 住民が身近に文化活動に触れ、気軽に参加できる文化協会の体制づくりを図ります。

(2) 文化財の保護・活用

関連する個別計画 社会教育計画／過疎地域持続的発展計画

- 文化財の調査を行い、有形・無形文化財の保護に努めます。
- 文化財の保護と活用を啓発する活動を進め、歴史教育を村民みんなで推進します。

(3) 民俗文化の保存・継承支援

関連する個別計画 社会教育計画／過疎地域持続的発展計画

- 村内各地域に伝わる民俗芸能などの文化遺産を保存・継承していくため、記録と住民への周知を行うとともに、民俗芸能などの披露の場の確保に努めます。
- 民俗資料の整理と調査・保存に努めます。
- ◎ 子どもたちへ学ぶ機会を提供することで、後継者の育成を図ります。

◎ …「復興未来トーク」における提案を取り入れた施策

復興に向けた取組

● 地域文化の復活

被災した地域において、地域の拠り所として管理されてきた集落共有施設の復旧及び仏像などの文化財の修復を支援します。

施策	施策概要	R6	R7	R8	R9	R10	R11~
集落共有施設の復旧、文化財の修復支援	● 地域の拠り所として管理されてきた共有施設の復旧、文化財の修復支援	○	○				